

ライフサポート：はた

「学習会やイベント等」のご報告 (皆さんの、ご参加をお待ちしています！)

N062 : 2021. 7. 14

四万十市中村大橋通7丁目1-24

連合高知西地協 TEL:34-9191

発行責任者：事務局 伊達幸雄

色々な組織やクラブに参加している方も多いと思いますが、何か面白い話や、イベントの広報などがあればお知らせ下さい。皆さんからの、投稿をお待ちしています。

< 5月12日(水) 10:00~11:00 >

講演：「自然災害と共済制度について」

講師：こくみん共済 coop 中村支所

(斎藤支所長、今津さん)



3月の学習会でも、こくみん共済 coop の「自然災害への補償について」と題して、自然災害への補償の概略について講演を行いました。今回は、もう少し具体的な内容で、加入している共済タイプ別に「支払いについて、どのような違いがあるか。」などを含めて講演をして頂きました。

まず、高知県の風水害の状況として、1998年の高知豪雨の記録や、四万十市で1982年8月以降に起きた5回の水害の状況などについての話の中で、身の安全を守ることと共に、生活再建への備えについて近年益々重要になってきたこと。



《万一被災した場合》

◆カード・通帳・印鑑・共済証書(保険証券)等が無くなった場合でも、①本人確認が出来れば1日当たり20万円程度引き出し可能。②証券が無くても請求は可能。

◆被災した場合優先すべきこととして、①身の安全の確保。②被害の証拠写真を撮る。

③罹災証明書の発行(税、公的保証、金融機関からの借り入れ、共済金の請求等が必要)

◆災害時の公的保障としては

基礎支援金・・・住宅の被害程度に応じて ①全壊世帯：100万円

②大規模半壊の世帯：50万円。 ※単身世帯の場合は上記金額の4分の3。

加算支援金・・・住宅の再建方法に応じて①建設・購入：200万円。②補修：100万円。
③賃借（公営住宅を除く）：50万円

住宅の応急修理制度

- ①準半壊以上の場合に被災した自宅の修理費は至急される
- ②半壊・大規模半壊：595,000円以内 ③一部損壊（準半壊）：300,000円以内

災害復興住宅融資

住宅が全壊・大規模半壊または半壊の罹災証明書を受けた人が、自宅を復旧するための建設資金あるいは購入資金を準備するために利用できる融資。

《「こくみん共済coop」の補償範囲のイメージ図》

住まいる共済 保障範囲		火災 共済	自然災害共済	
			大型タイプ ^o	標準タイプ ^o
火災等のとき	火災、落雷、破裂・爆発 消火作業による冠水・破壊	○	×	×
風水害のとき	突風・旋風 台風・暴風雨・豪雨・長雨 洪水・高波・高潮 雪崩・降雪・降ひょう	△ 最高300万円	○ 最高4,200万円	○ 最高3,000万円
地震等のとき	地震による損壊・火災 噴火による損壊・火災 津波による損壊	×	○ 最高1,800万円	○ 最高1,200万円

支払い事例1

自宅近くの河川が氾濫し、1階全て（全床面積の50%以上）で70cmの床上浸水となり、テレビ・タンス・靴などが浸かった。（認定：床面積50%以上、0.7m以上1m未満）

- 住宅150口・家財100口（自然災害共済付帯なし）：約80万円（月払い：1,500円）
- 住宅150口・家財100口（自然災害共済 標準タイプ）：約450万円（月払い3,875円）

支払い事例2

台風により、屋根瓦とカーポートが破損した。

- 住宅（鉄骨）150口・家財100口の場合（自然災害共済なし）：約13万
- 住宅（鉄骨）150口・家財100口の場合（自然災害共済あり）：約43万



※支払金額は、加入内容で違います。詳細について知りたい方は、こくみん共済で確認してください。

このように、事例を用いて実際に支払われる金額や、契約内容によってかなり支払われる金額に違いが出るなど、大変わかりやすい講演でした。

契約内容によって掛け金も、受ける補償も違いますので、契約内容については自宅周りの自然環境など十分検討した上で決定する必要があります。

< 6月2日（水）10:00～11:00 >

講演：「四万十市政報告」

講師：四万十市議会議員 広瀬さん

昨年、8月5日（水）の学習会でも四万十市の市政報告を行って頂きましたが、今回も広瀬市議の活動を中心に講演を行っていただきました。



まず、2020年2月議会では、国のGo Toトラベル事業について、全体像が決まらないままでの事業開始について、市としてどのように考えているか。また、防災対策について「広域的な避難における安全対策」や、「停電対策における発電機の整備」など、私達の生活に直結した問題について質問し、四万十市の行政に細やかな対応を求めたこと。以下質問一覧

《令和2年9月議会》

1、Go Toトラベル事業について

(1) 全体が決まらないままの事業開始について

- ① 事前説明・クーポン券について ② 一部地域を除いての事業開催について

2、防災対策について

(1) 広域避難について ① 安全な避難場所・安全な移動手段について

(2) 停電対策について ① 発電機について ② 発電機の燃料について

③ 簡易水道の停電対策について

3、市民の利便性向上について

(1) 市役所西側出入口について ① 見通しの改善について

4、四万十市の子育て支援について

1) 保育所統合に関わる通園バスについて ① 保護者負担の軽減について

5、バーベキューパークについて

1) 四万十市をバーベキューの街に ① 要望のある地域にバーベキューパークを

《令和2年12月議会》

1、地域での交流生きがい作りについて

2、通学の安全対策について

3、道路の整備について

4、四万十農法米について

《令和3年3月議会》

1、市民が望む安定した景気対策について

2、学校防災について

3、小学生のインターネット利用について

4、子育て世帯への直接支援について

5、文化複合施設の長寿命化について

6、沈下橋周辺の景観保全について



「緑の募金」による植樹にも取り組んでいます。

以上のような内容について、四万十市の回答を含めた詳細な説明でしたが、私達にとって身近な問題でもあり、多くの質問がありました。

< 7月3日（土）10:00～12:00 >

幡多地区労働者福祉協議会・幡多ライフサポートセンター合同総会

場所：四万十市社会福祉センター 大会議室

コロナ感染症の拡大で全世界が大変な状況ですが、日本国内においても感染が拡大する中、強引にオリンピックが開催されることになりました。

先日、お昼のワイドショーでオリンピックは平和の祭典であり、特別な存在なので「感染が拡大（確実に死者が増加）することになっても実施するべき。」と力説している、元オリンピック委員の方がいましたが、どうも「オリンピックを何が何でもやることで、平和と安全がもたらされる。」との考え方のようでした。どこからそのような考えが生まれるのか理解できませんでしたが、何となく「特権階級によるオリンピック教」なるものが存在するのではと誤ってしまいました。

ご存じでしょうか、大会ボランティアは交通・宿泊経費など全て自腹ですが、バハハ会長の役員報酬は2,900万円、日本の理事は最高2,400万円で、活動経費は別途過分に支給されます。（オリンピックを否定はしませんが、巨額の税金も使われます。）

本題に入ります。高知市周辺ではいまだに感染が収まってはいませんが、幸い幡多地域では最近確認されていないこともあり、広い会場で人数制限を行い、検温・消毒・マスクなどコロナ感染症対策をとりながら標記合同総会を実施しました。

◆《総会に先立ち「衆議院議員の広田一氏」による、国政報告が行われました。》

幡多地区労働者福祉協議会・幡多ライフサポートセンター合同総会前の、大変貴重な時間を割いていただき、このような機会を設けて下さったこと、そして日ごろの私へのご支援・ご協力に対し、心より感謝申し上げます。

今年は衆議院の解散総選挙がありますが、9月8日の解散・10月10日の投票の可能性が一番高いのではないかと考えています。

私の対戦相手は、尾崎前知事さんになりますが、知名度・組織力・実力ともに相手の方が上手です。私は現職ではありますが、私自身は挑戦者としての気持ちで戦っていきたい。そして、元連合高知会長の間嶋氏を事務総長にお招きし、高知市の河ノ瀬町の方に選挙事務所を構えることになりましたので宜しく願いいたします。

本題の国政報告についてですが、言うまでもなく新型コロナウイルス対策になります。感染状況についてはご存じのとおりですが、コロナ禍は社会に分断をもたらしており、大きく三つの問題点があると考えます。

一つは、エッセンシャルワーカー（生活の根幹を支える医療や福祉、保育や第一次産業、行政や物流、小売業やライフラインなどで働く人々のこと。）への誹謗中傷による差別が未だに後を絶たないこと。



二つ目は、コロナ禍における不当な解雇や雇止めであり、その多くが非正規雇用で女性の皆さんであるということ。

三つめは、事業者間で業績に大きな格差が生じ、飲食業・観光業・交通関係・イベント関係の皆さんが大変な状況になっていること。加えて、国政というものが生活に密着しているにも拘らず、その役割を果たしていないこと。

国会での議論の中でも、政権の政策が「後手後手」で「見通しが甘すぎ」、そして「遅すぎる」ことについて追及し、生活困窮者への支援法案も提出してきた。

この他、現政権の検査体制の脆弱（世界第148位のPCRの検査数）さや、地域で「挨拶回り」をする中での生の声などを紹介しての講演でした。

なお、毎日感染者数が報告されていますが、世界に比べて日本の感染者数が少ないのはオリンピックの関係だと想像しますが、「検査の絶対数が少ないからだ。」とも言われています。したがって、都道府県の感染確認件数を単純に比較してもあまり意味がありません。検査数を考慮して見る必要があります。

◆《幡多地区労働者福祉協議会総会》

昨年と同じく、県職連合幡多支部の浜田さんに議長をお願いし、今倉会長の挨拶の後、下記のような内容で総会を行いました。

《来賓の皆さん》

高知県労働者福祉協議会	折田 晃一 様
社民党高知県連合会 四万十支部代表	
四万十市市議会議員	広瀬 正明 様
四万十市選挙区高知県議会議員	石井 孝 様
土佐清水市選挙区高知県議会議員	橋本 敏男 様



コロナ禍で活動が制限されましたが、「2020年度幡多地区協議会の取り組み」「2021年度方針」について、それぞれ松岡事務局長より確定申告への取り組みなどの報告や、2021年度の7項目の目標について提案がなされ、議案書のとおり承認されました。

また、今年度は役員改選の時期でしたが、前年度の全役員が全員引き続いて就任することになりました。

◆《幡多ライフサポートセンター総会》

議長を引き続いて県職連合幡多支部の浜田さんをお願いし、横田会長の挨拶の後、下記のような内容で総会を行いました。

幡多ライフも労福と同じく、コロナ禍でほとんどの事業が中止になりましたが、釣り大会や囲碁大会などについては何とか行われたこと。相談事業ではスマートホンに変更する方が多くなったせいで、操作についての相談が多くなってきたことなどについて伊達事務局長から報告がなされ、議案書のとおり承認されました。

幡多ライフについても、役員改選の時期でしたが、前年度の全役員が全員引き続いて就任することになりました。

今の状況では、感染拡大が収まりそうにもありませんが、せめて来年には今までどおりの活動が出来ることを願っています。



新しく
なった

こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・熟年定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・終身生命共済・個人長期生命共済



こくみん共済 coop 公式キャラクター ビットくん（中央）とビットくんファミリー

みんなの声で、こくみん共済は新しくなりました。

ちょうどいい備えがあると
うれしいですね。

長い人生、保障はずっと続くと
安心ですね。

こどものことはいつでも
サポートしたい。

医療 保障タイプ

20

- UP 先進医療
最高 1,000万円
- UP 入院 日額 1万円

※ 医療保障タイプ20の場合

終身医療 保障タイプ

- NEW 入院・手術の保障が一生涯
- NEW 先進医療 (特約を付帯した場合)
最高 1,000万円

不慮の事故で所定の障がいの状態になったとき、
以後の掛金はいただきません。

※ 持病や病歴がある方には、加入条件が厳やかな
終身医療保障「引受基準緩和タイプ」もあります。
詳細については当会までお問い合わせください。

こども 保障タイプ

- UP 入院 日額 1万円
- 骨折、脱臼 5万円
- NEW 相談無料
「こども相談室」
子育ての悩みや
お子さまの勉強をサポート

たすけあいの輪をむすぶ

全労済から「こくみん共済 coop」へ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop